

# 風はPLCから

平成30年11月

## 高度化実践実習Ⅰ ～検証授業&成果発表会～



院生がそれぞれの探究課題を解決するために、附属小・中学校で約4ヶ月間の実習を行ってきました。授業の参観だけでなく、校内研修や職員会議への参加をしたり、実際に附属小・中学校で授業をしたりして研究をした院生もいました。8月末から9月初めにかけてストマス（学部卒院生）6名の検証授業が行われ、現職教員院生はメンターとして授業づくりに参加しました。授業後は授業研究会を企画し、さらに学びを深めました。

**奈良 憲佑** (鹿児島市立草牟田小学校)  
私は、コミュニケーションを多く取り、思いや目的を共有することを大切にしたいと思いながら授業に関わりました。しかし、自分の考えや指導方法を上手く伝えることができず、協働することの難しさを感じました。



**【授業者】新留 一穂** (学部卒)  
社会科授業における授業づくりや子どもとの関わり方、教師になる上で意識しておいた方がいいことなどについて勉強することができました。2回の検証授業は、自身の勉強不足や授業に対する甘さを再認識することが出来たいい機会でした。表出した疑問や再認識できた課題が解決できるように学びを深めていきたいです。

**福原 誠也** (鹿児島市立郡山中学校)  
授業者の「思い(願い)」に、心ざわしいアドバイス(視点等)を与えることの重要性を学ばせていただきました。「メンター」に携わって、「授業づくりに終わりは無い(=奥深い営み)」ということを感じました。



**【授業者】長野 圭佑** (学部卒)  
高校と比較して学習内容が少ない分、学習内容を深める工夫が求められると感じました。今後の教職大学院での学びを通して「授業づくりって面白い!」と感じられるように努力していきたいです。

9月27日に高度化実践実習Ⅰの成果発表会がありました。参観してきたことと授業で学んだことを生かして、探究課題についての考察やまとめを発表しました。他の院生の発表からも多くのことを学びました。

**東 一馬** (日置市立日吉小学校)  
附属小学校での実習は、自身の実践を振り返り、新たな学びを生み出す良い機会となりました。大学で学んだ理論をもとに授業実践、組織業務を参観し理論と実践の往還を図ることができました。新たな探求課題も生まれ、更なる意欲の向上へとつながりました。



## PLCって何だろう?

★PLC: Professional Learning Community

～目的を共有し、その実現のために協働する教師集団～

私たちが学んでいるPLC室では、常に新しい問いや課題が生まれています。それらを全員で共有し、時には議論をしながら学んでいく雰囲気はここにはあります。

私たちは4月からこのような集団だったわけではありません。院生が“あること”を意識することで、少しずつ変化してきました。それは、**より協働的な組織をめざし、お互いの価値観を知って認め合い、得意なことを必要な場面で生かしていくこと**です。このことは、現職教員学生・学部卒学生とともに心掛けています。



PLC室では、経験の有無や年齢は関係ありません。それぞれの課題を解決するという目的のもと、一人一人違った役割をもって、平等に考えを述べています。

“十六人十六色”の私たちの集団は、まだ成長途中です。よりよいPLCを目指して、今日も学び合っています。